

2024年度 グローバル地域文化学部 グローバル地域文化学科 自己推薦（アスリート） 入学試験要項 ヨーロッパコース、アジア・太平洋コース、アメリカコース

1. 募集人数

グローバル地域文化学部	グローバル地域文化学科	ヨーロッパコース	2名
グローバル地域文化学部	グローバル地域文化学科	アジア・太平洋コース	2名
グローバル地域文化学部	グローバル地域文化学科	アメリカコース	2名

2. 出願資格

以下の(1)～(6)の要件をすべて満たす者。

- (1) 2023年に高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ）を卒業した者、および2024年3月31日までに高等学校を卒業見込みの者。

【注】下記の者も(1)に準ずるものとします。

- 通常の課程による12年の学校教育を2023年に修了した者、および2024年3月31日までに修了見込みの者。
 - 外国において、学校教育における12年の課程を2023年に修了した者、および2024年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。
 - 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2023年に修了した者、および2024年3月31日までに修了見込みの者。
 - 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後で、かつ、2022年4月1日以降に修了した者（2024年3月31日までに修了見込みの者を含む）。
 - 文部科学大臣の指定した者。
 - 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験を2022年度・2023年度中に合格した者、および2024年3月31日までに合格見込みの者で、2024年3月31日までに満18歳に達するもの。
 - その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、2024年3月31日までに満18歳に達するもの。
- (2) 同志社大学グローバル地域文化学部で学ぶことを強く希望し、入学後は学業と課外体育活動を両立させる強い意志をもつ者。
- (3) 同志社大学体育会に加盟する部の競技種目（94ページの別表）を高等学校在学中に課外体育活動として積極的に行い、かつ、入学後も体育会加盟の部において、スポーツ活動を継続する意志をもつ者。
- (4) 高等学校在学中に各種競技スポーツにおいて、全国高等学校総合体育大会、全国高等学校選手権大会、全国高等学校選抜大会、国民体育大会等の全国大会に出場し、16位以内の成績を残した者、もしくはそれと同等以上の競技成績をあげた者。

(5) 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.0以上で、かつ教科「外国語」の「学習成績の状況」が4.0以上の者。

* (5)について：高等学校卒業見込みの者は第3学年1学期（または前期）まで、卒業した者は第3学年修了時までのものとする。2学期制の高等学校において、第3学年前期までのものの提出が不可能な場合は、前期中間までのもの、それが不可能な場合は、第2学年までのものとする。

* (5)について：教科「外国語」が存在しない場合は、これを教科「英語」と読み替える。教科「外国語」と教科「英語」の両方が存在する場合は、その両方の教科それぞれの「学習成績の状況」が4.0以上の者とする。

(6) 下記のいずれかの試験を2021年4月1日以降に受験し、そのスコアカードまたは合格証明書により下記の外国語能力を証明することができる者。

TOEIC® LISTENING AND READINGテスト 注1	TOEFL iBT® テスト 注2・注3	実用英語技能検定 (英検) 注4	IELTS (Academic Module) 注5・注6	ドイツ語技能検定試験
500点以上	45点以上	2級以上	4.5以上	3級以上
Goethe-Zertifikat	実用フランス語 技能検定試験	DELTA	中国語検定試験	HSK (口頭試験を除く)
A2以上 注7	3級以上	A2 (CEFR A2) 以上	3級以上	3級以上 注8
スペイン語技能検定	DELE	ロシア語能力検定試験	「ハングル」能力 検定試験	韓国語能力試験
4級以上	A2 (CEFR A2) 以上	4級以上	3級以上	3級以上

注1 TOEIC® LISTENING AND READING IPテストおよびTOEIC® LISTENING AND READING IPテスト（オンライン）は対象外。

注2 TOEFL iBT® Home Editionは対象外。

注3 Test Dateスコアのみ利用可。MyBest™スコアは利用できない。

注4 従来型英検、英検CBT、英検S-CBT、英検S-Interviewを利用できる。

注5 IELTSコンピューター版（旧：CD IELTS）、IELTS for UKVIのAcademic Moduleを含む。

注6 IELTSオンライン版（IELTS Online）は対象外。

注7 Goethe-Zertifikat A2:Fit in Deutschでも可。

注8 HSK 5級及び6級は合計点の6割以上のスコア獲得を合格とみなす。

3. 選考方法

出願書類および筆記試験（日本語による小論文）・口頭試問の実施により、総合的に判断して合格者を選抜します。

4. 出願書類

(1) 入学志願票（本学所定の用紙に本人が記入したもの）

入学志願票記入上の注意（別紙）にしたがって記入してください。

入学検定料納入後の入学志願票は次のように処理してください。

1) 金融機関から納入する場合（ゆうちょ銀行およびATMは不可）

志願票①	}	本学に提出してください。 (写真票②)に取扱金融機関収納印がないものは出願を受理しません。)
写真票②		
受験票⑤		

振込依頼書③……………入学検定料を納入した金融機関が保管します。

領収証④……………取扱金融機関収納印を確かめ、大切に保管してください。

2) コンビニエンスストアから納入する場合

志願票①
写真票②
受験票⑤

— 本学に提出してください。
(写真票②にコンビニエンスストア入学検定料収納証明書が貼付されていないものは出願を受理しません。)

※コンビニエンスストアから納入する場合、振込依頼書③および領収証④は使用しません。

(2) 調査書 (出身学校長が証明し、厳封したもの)

高等学校卒業見込みの者は、高等学校入学時から第3学年1学期(または前期)まで、**全ての学年の学習成績等について記載されているもの**。卒業した者は、高等学校入学時から第3学年修了まで、**全ての学年の学習成績等について記載されているもの**。2学期制の高等学校において、第3学年前期までのものの提出が不可能な場合は、前期中間までのものでも可とする。それが不可能な場合は、第2学年までのものでも可とする。

高等学校在学中に留学した者で、留学中に修得した単位が高等学校で卒業に必要な単位として認定されている場合

次の書類を2点とも追加で提出すること。

- ・留学期間中の学業成績証明書(原本に限る。厳封したもの)
- ・留学前後の高等学校における学習成績に、留学期間中の学習成績(在籍する高等学校での認定評価)を含めた場合でも、出願資格を満たしていることを高等学校長が証明する文書(書式自由。原本に限る。厳封したもの)

(3) 志望理由書 (ホームページからダウンロードした本学所定の書式1に本人が記入したもの)

(4) 競技成績証明書 (ホームページからダウンロードした本学所定の書式2)

(5) 競技成績を証明する客観性のある資料 (ホームページからダウンロードした本学所定の表紙(書式3)を上綴じすること)

(6) 資格を証明する書類 (原本に限る)

2. 出願資格(6)の要件を満たしていることを証明する書類(合格証明書など)

TOEIC® LISTENING AND READINGテストのスコアを利用する場合、公式認定証(Official Score Certificate)*の原本を提出してください(デジタル公式認定証を用いての出願は認めません)。

※公式認定証とは、試験実施団体(一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会)が発行する紙の認定証を指します。発行方法は、試験実施団体にお問い合わせください。

なお、提出いただいた書類は後日返却します。

(7) 写真1枚

出願前3か月以内に撮影した正面半身脱帽、背景無地のカラー写真(タテ3cm×ヨコ2.4cm:自動車運転免許証用と同サイズ)を写真票②の貼付欄に貼付してください。

なお、合格した場合には、学生証用写真や教務情報等に使用します。

(8) 宛名シール(2連) 2枚 (本学所定の用紙)

志願票記載の書類送付先住所を2連とも記入し、2枚提出してください。

※(3)~(5)の書類作成上の注意事項は、それぞれの本学所定用紙に記載しています。

※出願資格(1)の【注】a~gに該当する者で、「調査書」が提出できない場合は、出願前に同志社大学グローバル地域文化学部事務室までご連絡ください。

5. 入学検定料および納入方法

(1) 入学検定料 35,000円

(2) 納入方法

1) 金融機関から納入する場合

本学所定の入学志願票（①票～⑤票）に必要事項を記入のうえ、切り離さずに、金融機関の窓口から「電信扱」で納入してください（ゆうちょ銀行およびATMは不可）。

納入後、②票、④票に取扱金融機関収納印が押してあることを確認してください。

取扱金融機関収納印がないものは、出願を受理しません。

なお、③票に記載している本学指定金融機関の本・支店窓口から納入される場合の手数料は不要です。

2) コンビニエンスストアから納入する場合

91ページ「コンビニエンスストアでの入学検定料納入方法」を参照のうえ、手続をしてください。

入学検定料納入後に発行されるコンビニエンスストア入学検定料収納証明書を、写真票②の所定欄に貼付してください。収納証明書がないものは、出願を受理しません。

※コンビニエンスストアから納入する場合、振込依頼書③および領収証④は使用しません。

(3) 納入期日 2023年9月14日(木) (期限後の納入は出願を受理しません。)

※1 いったん納入された入学検定料は返還いたしませんので、注意してください。

※2 やむなく海外から納入する場合は、出願締切日の1週間前までにグローバル地域文化学部事務室までお問い合わせください。

6. 出願受付

出願は郵送に限ります（窓口では一切受け付けません）。

(1) 受付期間：2023年9月11日(月)～9月15日(金) (9月15日必着)

(2) 郵送方法：・簡易書留速達郵便に限ります。簡易書留速達郵便以外で発送されたものは責任を持ちません。

・すべての出願書類をまとめて、本学所定の「宛名ラベル」を使用し、一度に送付してください。（個別での送付は不可）

※「宛名ラベル」は、本学ホームページから、出願用所定用紙とともにダウンロードいただけます。

(3) 郵送宛先：〒602-0898 京都市上京区烏丸通上立売上ル

同志社大学 グローバル地域文化学部事務室

7. 選考日程

10月14日(土)〔今出川校地〕筆記試験（日本語による小論文）、口頭試問

8. 合格者発表

11月1日(水)付で、合否について本人宛に速達郵便で通知します。合格者発表に関する電話等による問い合わせには一切応じません。

9. 入学手続

合格者は、第1次手続として登録料（入学金相当額）を納入し、第2次手続として学生納付金から登録料を差し引いた金額を納入してください。

期日までに第1次手続および第2次手続を完了しない場合は、入学を許可しません。

第1次手続締切：2023年12月4日(月)

第2次手続締切：2024年3月11日(月)

- ※1 いったん納入された登録料または入学金は、いかなる事情があっても返還いたしません。
- ※2 期限後の納入は、事情のいかんに関わらず受け付けませんので、注意してください。
- ※3 登録料は、第2次手続が完了した時点で、入学金として取り扱います。
- ※4 入学手続を完了した後、2024年3月31日までに所定の方法により入学手続取消を申し出た場合に限り、学生納付金から入学金を差し引いた金額を返還します。詳細は合格者に通知します。

10. その他注意事項

- (1) 自己推薦（アスリート）入学試験合格者が2024年3月末時点で、出願資格(1)の要件を満たさなかった場合は、理由のいかんに関わらず入学を許可しません。
- (2) いったん受け付けた書類は、いかなる事情があっても返還しません。

グローバル地域文化学部の自己推薦（アスリート）入学試験は、高等学校在学中に学業とスポーツの両分野において優秀な成績を修め、かつ、本学入学後もグローバル地域文化学部生として学業に励み

ながら、本学体育会の加盟部において競技活動を継続することができる、強い意志と能力をもつ諸君を対象としています。

【Q & A】

Q この自己推薦（アスリート）入学試験制度の趣旨は何ですか？

A この制度は、出願資格にありますように、本学への入学を強く希望し、高等学校在学中に学業とスポーツを両立させ、かつ、本学入学後も、学業と本学の体育会に加盟する部でのスポーツ活動を両立させる強い意志のある諸君を、学力と運動・スポーツ能力により総合的に判定し、本学に迎え入れるものです。

Q 体育会に加盟する部の競技種目は、どのようなものがありますか？

A 本学の体育会に加盟する部は、現在50部あります。その中で、本学に施設・設備のない競技種目や団体競技種目で本学では活動できないものもあります。具体的な競技種目は94頁を参考にしてください。

Q 試験の内容はどのようなものですか？

A 「小論文」「口頭試問」を実施します。これらの試験の内容は、この制度の入学生が同志社大学グローバル地域文化学部の学生として強い勉学意欲を持ち、学業とスポーツを両立させることを前提としていることから、「小論文」では同志社大学での専門教育を受けるために必要な知的能力、論理的思考力を判断します。「口頭試問」は、学力、競技戦歴、勉学意欲などを確かめ、同志社大学の学生として学業とスポーツの両立ができるかを判断するために行います。